

指揮 森口 真司



大阪府出身。京都大学文学部を経て1995年東京藝術大学大学院指揮科修了。大学院修了後すぐ「ブラハの春」国際音楽コンクール指揮部門で第3位受賞(1位なし)、同時にブラハの春国際音楽祭に出演しブラハ放送交響楽団を指揮した。以降、東京フィルハーモニー交響楽団、紀尾井シンフォニエッタ、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、東京都交響楽団、札幌交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、名古屋

フィルハーモニー管弦楽団、佼成ウィンドオーケストラ、大阪市音楽団など全国各地のオーケストラに客演する。また岩城宏之氏に認められ、2003年から2年間オーケストラ・アンサンブル金沢の専属指揮者を務めた。オペラ指揮者としてこれまで30を超す作品を100回近く指揮し、大田区民オペラ・ベッリーニ「ノルマ」(「三菱UFJ信託音楽賞」受賞)ヴェルディ「シモン・ボッカネグラ」、モーツァルト劇場・オッフェンバック「シュフルーリ氏のサロンコンサート」「りんご娘」(日本初演)などが各方面から絶賛されるなど充実した活動が続いている。2002年から2009年まで東京混声合唱団コンダクター・イン・レジデンスも務めた。東京藝術大学、二期会オペラ研修所講師を経て2008年大分県立芸術文化短期大学に着任する。本拠地を大分に移した後も九州交響楽団ベートーヴェン第九演奏会(2011、14、17年)、愛媛県合唱連盟50周年記念公演「メサイア」、ひむかオペラ(延岡市)第1回公演「こうもり」、大分二期会旗揚げ公演「魔笛」、ホルトホール大分開館記念演奏会、文化庁・大分県立芸術文化短期大学共催オペラ「ヘンゼルとグレーテル」「フィガロの結婚」、世界的バレエダンサー首藤康之氏演出・振付によるバレエ「ドン・キホーテ」「眠れる森の美女」、大分二期会「こうもり」、国民文化祭・おおいた2018におけるマラー「復活」など数々の重要な公演の指揮を任されている。現在大分県立芸術文化短期大学音楽科教授、大分大学非常勤講師。



“魂のピアニスト” 前田 健治

大分市出身。大分県立芸術文化短期大学音楽科、東京藝術大学音楽学部器楽科、ピアノ専攻をすべて首席で卒業。藝大卒業時に安宅賞、アカンサス音楽賞、同声会賞を受賞。同大学院修士課程ピアノ専攻を首席で修了し、クロイツァー賞を受賞。

国内外のコンクールにおいて受賞歴多数。リサイタルを始め、伴奏や室内楽、皇居内での御前演奏など20年以上の演奏会歴多数。

その他、ポーランドクラクフ室内管弦楽団、チェコフィルハーモニー室内管弦楽団、九州交響楽団、藝大フィルハーモニー、大分チェンバーオーケストラ、神奈川フィルハーモニー管弦楽団と共演。ビジョン・クラシックより、CD『ヒーリング・ノクターン』、『響』、『Message』、『kenji maeda piano best』をリリース。2001年キングインター

ナショナルよりリリースされたCD『お雇い外国人の見た日本』は世界初録音として話題になり、TBSテレビ「日立世界ふしぎ発見!」に出演。2015年日本コロムビアより発売されたCD『幻のラジオ体操第3』でピアノ演奏を担当した。また、ヤマザキビスコのCMやテレビ朝日「題名のない音楽会」などでヴァイオリニストの宮本笑里と共演。2000年大分合同新聞社賞受賞。

元東京藝術大学、現国立音楽大学非常勤講師として後進の指導に携わる傍ら、ピアノリサイタル、ヒーリングコンサート(ピアノ瞑想などを含んだ)、神社仏閣などで音霊に祈りを込めた奉納演奏など幅広く演奏活動を行っている。

- 前田健治オフィシャルブログ「♪愛と光のピアノ♪」(アメーバブログ)
- インスタグラム http://instagram.com/kenji_pianist
- YouTube「前田健治」